

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公表番号】特表2016-538240(P2016-538240A)

【公表日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-516911(P2016-516911)

【国際特許分類】

C 07 K 19/00 (2006.01)

C 07 K 16/28 (2006.01)

C 07 K 7/04 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 07 K 19/00 Z N A

C 07 K 16/28

C 07 K 7/04

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月25日(2017.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号353～363、372～375、376～378、395～401、411～419、426～433、437～449、454～456、459～469、475～482、487～495、318～323、325～327、330～335、341～347、14～33、及び159から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分(CM)を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項2】

前記CMが、配列番号14～33及び159から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離ポリペプチド。

【請求項3】

配列番号364～370、379～393、402～409、420～424、434～435、450～452、457、470～472、474、及び483から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分(CM)を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項4】

配列番号328、336～339、及び348～351から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分(CM)を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項5】

前記CMが、MMR9又はMMP14の少なくとも1つにより切断される、請求項1～

4のいずれか1項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項6】

前記ポリペプチドが、標的と結合する抗体又はその抗原結合フラグメント(A B)を含み、

任意には、前記抗原結合フラグメントは、F a bフラグメント、F (a b)、フラグメント、s c F v、s c A b、d A b、單一ドメイン重鎖抗体、及び單一ドメイン軽鎖抗体から成る群から選択される。

請求項1～5の何れか1項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項7】

前記C Mが、前記標的と組織において共局在するマトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、請求項6に記載の単離ポリペプチド。

【請求項8】

前記単離ポリペプチドがA Bを含むとき、前記A Bが、前記C Mに連結され、

任意には、前記単離ポリペプチドがA Bを含むとき、前記A Bが、前記C Mに直接連結され、

任意には、前記単離ポリペプチドがA Bを含むとき、前記A Bが、連結ペプチドを介して前記C Mに連結される。

請求項6又は7に記載の単離ポリペプチド。

【請求項9】

前記単離ポリペプチドが、マスキング部分(M M)を含む、請求項6～8のいずれか1項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項10】

前記M Mが、標的への結合についてのA Bの平衡解離定数よりも高い、A Bへの結合についての平衡解離定数を有する、請求項9に記載の単離ポリペプチド。

【請求項11】

前記M Mが、40個以下のアミノ酸の長さのポリペプチドである、請求項9又は10に記載の単離ポリペプチド。

【請求項12】

前記M Mが前記C Mに結合されて、未切断状態での前記単離ポリペプチドが、以下のN-末端からC-末端への構造配置：

M M - C M - A B 又は A B - C M - M M

を含む、請求項9～11のいずれか1項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項13】

前記単離ポリペプチドが、前記M Mと前記C Mとの間に連結ペプチドを含み、かつ/又は、

前記単離ポリペプチドが、前記C Mと前記A Bとの間に連結ペプチドを含む、請求項12に記載の単離ポリペプチド。

【請求項14】

前記単離ポリペプチドが、第1連結ペプチド(L P 1)及び第2連結ペプチド(L P 2)を含み、そして

未切断状態での前記単離ポリペプチドが、以下のN-末端からC-末端への構造配置：M M - L P 1 - C M - L P 2 - A B、又はA B - L P 2 - C M - L P 1 - M Mを有し、

任意には、前記2種の連結ペプチドが、お互いに同一である必要はない、請求項10～13のいずれか1項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項15】

各L P 1及びL P 2が、約1～20個のアミノ酸の長さのペプチドである、請求項14に記載の単離ポリペプチド。

【請求項16】

前記M Mのアミノ酸配列が、前記標的の配列とは異なり、そして前記A Bの天然の結合

パートナーのアミノ酸配列に対して 50 % 以下の同一性である、請求項 10 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 17】

前記単離ポリペプチドが切断された状態であるとき、前記 MM は、標的への結合について、前記 A B に干渉しないか、又は前記 A B と競合しない、請求項 10 ~ 16 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。